

社会資本総合整備計画 中間評価書

平成 25 年 8 月

計画の名称	1-1 石川県における総合的な治水対策の推進（防災・安全）緊急対策		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）	交付対象	石川県、金沢市
計画の目標			

集中豪雨の多発や都市化の進行に伴う被害リスクの増大に対し、ハード整備とソフト施策の両面から、流域一体の総合的な治水対策を実施することで、水害に強い市街地、ふるさとの実現を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 過去10ヵ年（H12～H21）に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあふ恐れが解消された戸数を0戸（H22）から2,152戸（H26）に増加。 河川整備が必要な区間において、当面の目標とした治水安全度が確保された延長をL=50.3km（H22）からL=62.0km（H26）に増加。
----------------	---

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 河川改修事業の実施区間において、過去10ヵ年（H12～H21）に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあふ恐れが解消された戸数	0戸（0%）	275戸（13%）	2,152戸（98%）	
② 河川整備が必要な区間のうち、当面の目標とした治水安全度が確保された延長	50.3km（57%）	58.0km（66%）	62.0km（71%）	

全体事業費	合計 (A+B+C)	12,224 百万円	A	12,184 百万円	B	0 百万円	C	40 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.3 %
-------	---------------	------------	---	------------	---	-------	---	--------	---------------------------	-------

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期	
中間評価の実施体制	中間評価の実施時期
石川県において評価を実施	計画期間中間時 公表の方法 石川県ホームページで公開

1. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 事業区間における過去10ヵ年の浸水に対し、完成区間において計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあふ恐れが解消された 河川整備が必要な区間の内完成区間において、当面の治水安全度を確保した 				
II 定量的指標の達成状況	指標①（河川改修事業の実施区間において、過去10ヵ年（H12～H21）に浸水した戸数のうち、計画規模の降雨に対して再び浸水の被害にあふ恐れが解消された戸数）	中間目標値	275戸（13%）	目標値と実績値に差が出た要因	・栗津川の事業完成等により目標値を達成した
		中間実績値	1,469戸（67%）		
	指標②（河川整備が必要な区間のうち、当面の目標とした治水安全度が確保された延長）	中間目標値	58.0km（66%）	目標値と実績値に差が出た要因	・栗津川の事業完成等により目標値を達成した
		中間実績値	59.8km（68%）		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

2. 特記事項（今後の方針等）

<ul style="list-style-type: none"> 最終目標値達成に向け、事業の促進を図るとともに、これまでの整備を踏まえ効果的な事業促進に努めたい
--